

ちよふの教育

No.92
3/20
令和8年(2026)

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課 (刊行物番号 2025-151)
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.lg.jp/>



教育支援センター「CANVAS(キャンバス)」 の開設&入室受付中

市教育委員会は、「子ども一人一人を大切に教育の実現」を目指し、不登校児童生徒への支援を進めています。不登校の児童生徒は年々増加しており、子どもたちの多様なニーズに応えられるよう、多様な学びの場、支援の場の提供が必要です。市内には、不登校の小学生の居場所として教育支援センター※「太陽の子」、不登校の中学生の学びの場として学びの多様化学校「はしうち教室」を設置していますが、このたび、不登校の生徒の多様かつ柔軟な学びの機会や居場所を充実させるため、中学生を対象とした教育支援センター「CANVAS(キャンバス)」を開設しました。

「CANVAS」という名称には、「絵を描くキャンバスのように、一人一人が自由に、なりたい自分を描いていける場所であって欲しい」という願いが込められています。

※教育支援センター:「太陽の子」はこれまで「適応指導教室」という名称でしたが、国が示す役割や機能等を踏まえた、より適切な名称として「教育支援センター」に改めました。

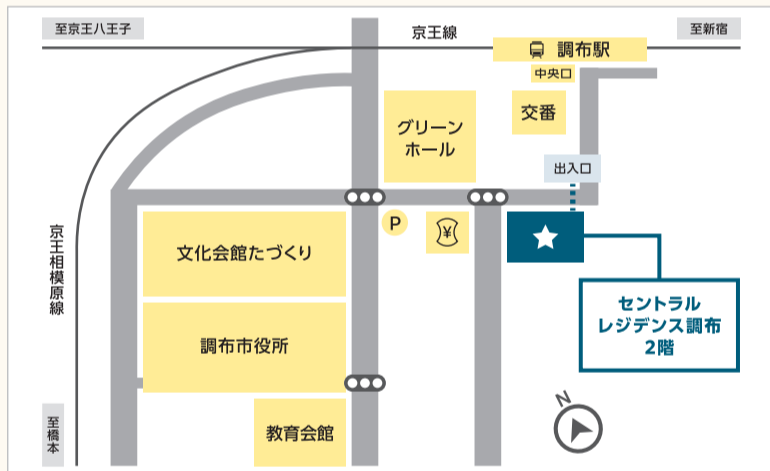


室内の様子(上記画像2点)

<教育支援センター「CANVAS」の概要>

- 本開室日** 4月1日(水)※3月はプレ開室中
- 所在地** 調布市布田4丁目17番地10 セントラルレジデンス調布2階
- 事業内容**
 - ・生徒一人一人のペースに合わせた学習支援
 - ・社会性を育むグループ活動や体験学習を通じた、集団活動における支援
 - ・心理士等による相談支援
- 対象** 市立中学校に在籍する生徒で、心理的要因等により不登校状態又はその傾向にある方
※事前に利用手続が必要です。

利用方法や手続き等についての問合せ 指導室 ☎481-7585



調布市立小学校児童への早朝見守り事業 みまモーニング(朝の小1の壁対策) 14校で実施中



朝の保育園の開始時刻と小学校の登校時刻が異なるなどによる、「朝の小1の壁」の解消に向けて、学校始業前まで、見守り員(市教育委員会が業務委託)が児童の見守りを行っています。

令和7年5月から4校で試行的に開始し、同年9月から実施校に6校を加え、さらに、令和8年3月に富士見台小、多摩川小、杉森小、布田小の4校を加え、現在計14校で実施しています。今後、さらなる実施校の拡充に向けた検討を進めます。



※詳細は、市報ちよふ、市ホームページ等をご確認ください。

問合せ/教育総務課 ☎481-7144

令和8年度 調布市防災教育の日 令和8年4月25日(土) 市立小・中学校 全校一斉実施

市教育委員会では、東日本大震災の教訓を風化させないため、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」とし、自助・共助の精神を育む防災教育や防災訓練等を、全ての市立小・中学校、大町スポーツ施設で一斉に実施しています。

当日は、学校教育活動として、命の尊さ、大切さを考える授業「命の授業」、調布消防署、調布警察署などによる「防災啓発講話」、保護者による引取訓練も兼ねた避難訓練の実施を予定しています。

また、市統一テーマ訓練として、市職員と地域の方々が行う「避難所開設訓練」では、小学校全児童・中学校全生徒とその保護者向けに、避難スペースや備蓄品の体験等ができる「避難所体験」を予定しています。

当日はどなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。



避難訓練



避難所体験

※詳細は、市報ちよふ、市ホームページ等をご確認ください。

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

●【教育委員会の会議を傍聴しませんか】定例会は原則毎月第4金曜日の午前10時から開催しています。傍聴を希望される方は、会議当日に教育会館3階研修室へお越しください。(会議日程は変更となる場合があります。詳しくは市ホームページをご確認ください。)
●令和8年度の事業実施については、市議会における令和8年度当初予算の議決(令和8年3月下旬予定)が前提となります。

令和7年度 調布市教育委員会表彰式

令和8年2月25日(水)に調布市グリーンホール大ホールで、スポーツ・文化活動等において、他の模範となる顕著な活動をした児童・生徒等を表彰しました。

今回は、令和7年度分41件、令和6年度分3件の表彰を行い、教育長・教育委員から受賞者一人一人へ表彰状を授与しました。

表彰理由等、詳細は市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)をご確認ください。



被表彰者一覧 (敬称略) (令和8年2月25日時点)

- 教育上特に推賞に値する善行のあったもの
 - 藤崎 芳瑠(第八中学校)
- 有益な調査・研究をしたもの
 - 風間 澄花(第二小学校)
 - 浄閑 康希(杉森小学校)
 - 川岸 玉枝(第六中学校)
- スポーツにおける活躍
 - CHELISH(第一小学校・第三小学校・布田小学校)
 - 佐藤 宏太(第二小学校)
 - 佐藤 彰(第二小学校)
 - 安本 佳冬(第二小学校)
 - 富樫 心桜(第三小学校)
 - 調布ハンドボールクラブ(八雲台小学校・多摩川小学校・柏野小学校・国領小学校・調和小学校)
 - 清野 蒼衣名(若葉小学校)
 - 表 さとり(北ノ台小学校)
 - 後藤 凛太郎(北ノ台小学校)
 - 古庵 智也(多摩川小学校)
- 濱中 彩音・稲垣 棕・前田 想乃(多摩川小学校・柏野小学校・柏野小学校)
- 竹内 颯(柏野小学校)
- 横山 優月(柏野小学校)
- 宮下 龍樹(布田小学校)
- 宮下 鳳樹(布田小学校)
- 姜 希宙(布田小学校)
- 佐藤 心花(布田小学校)
- 姜 希羽(布田小学校)
- 小林 佳輝(調布中学校)
- 下平 美雪(調布中学校)
- 櫻井 梨央・長谷川 莉帆(調布中学校・調布中学校)
- 松本 理紗子・黒沼 稟(調布中学校・第三中学校)
- 大澤 花菜(神代中学校)
- ラグビー部(神代中学校)
- 杉本 剣四郎・栗山 真都・稲葉 悠人(第三中学校・第三中学校・第五中学校)
- 岩崎 修斗(第五中学校)
- 齋藤 日和(第五中学校) 男子卓球部(第五中学校) [過年度]
- 小川 風羽(八雲台小学校)
- 竹内 颯(柏野小学校)
- 姜 希宙(布田小学校)
- 文化活動における活躍
 - 明田 結実(第二小学校) 日本のおどり文化協会 調布支部「うさぎ団子」(第二小学校・上ノ原小学校・石原小学校・多摩川小学校・調和小学校)
 - 村林 美羽(第二小学校)
 - 五十嵐 麗衣(八雲台小学校)
 - 小川 風羽(八雲台小学校)
 - 小島 大和(北ノ台小学校)
 - 右田 晴基(多摩川小学校) 合唱部(神代中学校)
 - 【合唱部門選抜:荒井 はな・高瀬 華恵・西口 優奈・藤田 銀世】(神代中学校) 吹奏楽部(第三中学校)

受賞代表者の言葉

調布市立調布中学校 第3学年 藤崎 芳瑠さん

子ども食堂で3年間ボランティアとして参加「教育上特に推賞に値する善行のあったもの」による表彰 ※藤崎さんは当日欠席されたため、司会が代読

本日は素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。たくさんの方が見ている前で、このようにスピーチできるなんて、夢にも思いませんでした。

ほかの受賞者の方々はスポーツの大会で好成績を残すなど、私には遠く及ばない努力をしてきたと思います。私がしてきたのは、大会に名前が残るわけでも、将来に役立つわけでもない、小さな優しさの積み重ねです。

私は、小学生の頃、子ども食堂の利用者でした。本来なら小学生までしか利用できないのですが、職員の方々が「かおる君にはまだいてほしい。」と言ってくださり、母の薦めもあって、『利用者』から『ボランティア』として、子ども食堂に携わるようになりました。配膳の手伝いをしたり、小学生が遊ぶのを見守ったり、時には一緒に遊んだりしました。

こうしてボランティアを3年間続けてこられたのは、子ども食堂の方々のおかげです。朝から食材の買い出しに行ったり、毎回献立を考えたりしている職員の方々には頭が下がる思いです。

最後に、私を推薦してくださった校長先生、日ごろ地域の活動でお世話になっている方々、皆様のおかげで、今こうして代表としてこの場に立つことができていることに、心から感謝します。本当にありがとうございました。

これで挨拶を終わります。ご清聴ありがとうございました。



受賞代表者の披露

調布市立神代中学校 合唱部(重唱部門選抜)

第73期TBS子ども音楽コンクール 東日本優秀演奏発表会 Aブロック中学生合唱部門・中学生重唱部門 出場

「文化活動における活躍」による表彰 ※当日の披露は、高瀬華恵さん・西口優奈さん・藤田銀世さん・森菜月さん(荒井はなさんの代理として)

この一年近い期間、私たちが向き合ってきたのは譜面通りの音だけではありません。

「人の心に訴える力のある歌声」を大切に細部に渡り調整を重ねてきました。決して妥協せず対話を重ねたことで私たち四人にしか表現できない、唯一無二の響きが生まれたのだと思います。

大好きな合唱、そして仲間とこれほどまでに真剣に向き合えたこと、とても幸せに思います。

この受賞を糧に、これからも心に響く歌声を追求してまいります。



令和7年度東京都教育委員会 児童・生徒等表彰

令和8年2月7日(土)に東京都庁第一本庁舎で、東京都教育委員会児童・生徒等表彰式が開催されました。調布市からは、地道な活動を継続的にを行い、他の児童・生徒等の範となる者として、表 さとり さん(北ノ台小学校第1学年)、神代中学校ラグビー部が表彰されました。

問合せ/指導室 ☎481-7479

問合せ/教育総務課 ☎481-7465



わが校じまん

在校生に「わが校」の魅力を「じまん」していただきました。

YUMEある布田小学校

布田小6年生's

みなさんの学校のシンボルは何ですか。私たち布田小学校のシンボルは「梅の木」です。梅の心を大切に、梅ジュース作り、梅まつりなど梅が関わるものがたくさんあります。そして、私たちの体を支えるおいしい給食。布田ラーメン、手作りメロンパンは愛情たっぷり、子どもたちにも大人気。行事に合わせたメニューもあります。運動会や学芸会、展覧会もあり、行事などでは、たくさんの方が歌われます。校歌だけではなく、校長先生作詞、音楽の先生が作曲した、「七色の虹」。「知恵と勇気と優しさ」とは給食の時間にも流れる曲です。知恵と勇気と優しさを大切にする、そんな布田小学校が私たちは大好きです。



伝統を受け継ぐ調和小

調布市立調和小学校 第6学年有志

私たちが通う調和小学校の自慢は、協力できる活動があることです。その中でも「ぶち合わせ太鼓」に取り組むことによって協力の意識が高まったと感じました。ぶち合わせ太鼓とは、かつて漁師たちが大漁を祈願して村ごとで競い、心を一にするために太鼓を打つ演奏のことです。私たちはこのぶち合わせ太鼓を音楽会などで披露し、協力の大切さをみんなに伝えていきます。音楽会を終えた今では協力することの必要性を学び、意識することができています。また、努力することが重要だと感じることもでき、みんなで心を一つにしてうまくできた時の達成感があります。協力は、日常生活の中でも大切になってきます。だからこそ、ぶち合わせ太鼓を調和小学校の伝統としてこれから受け継いでいきたいです。



問合せ/教育総務課 ☎481-7465

教育委員の再任

教育長職務代理者 **白倉 美智**

令和7年12月18日付で教育委員会委員に再任されました。



任期
令和7年 12月18日
▼
令和11年 12月17日

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

教育委員会の開催状況

令和7年9月から令和8年2月までに、6回の定例会と2回の臨時会が開催されました。

- 主な案件
 - 令和7年第4回調布市議会定例会提出案件について
 - 令和8年第1回調布市議会定例会提出案件について
 - 令和7年度調布市「いのちと心の教育」月間の取組について

○教育委員会定例会は原則として毎月第4金曜日に午前10時から、教育会館3階で開催しています。傍聴は開会15分前から先着で受け付けます。

○教育委員会の開催日・案件・会議録、教育委員会委員の活動報告、教育長交際費の支出状況など教育委員会の動きを市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)で公開しています。



問合せ/教育総務課 ☎481-7465

令和7年度 中学校移動教室(スキー教室)の実施

調布市では、市立中学校の第1学年を対象に、令和8年1月8日から2月18日までの期間でスキー教室(2泊3日)を実施しました。

今年度から実施場所を市の少年自然の家がある山梨県北杜市(スキー場は長野県南佐久郡にあるスキー場を利用)に変更しました。



問合せ/指導室 ☎481-7480

教育随想

学び場

近くの川土手に立つと広がる風景、とりわけ朝の東と夕刻の西は息をのむ絶景です。この景の中に子どもたちを置いたらどんな反応があるだろう?近所の下布田遺跡は総合的学習での扱い。自体のゆるぎない価値は勿論、子が学ぶ切り口がとんでもなく多様です。周囲の畑や稲田は貴重な体験、発見の場になっています。そして、地域の人たち。このように調布は子にとって貴重な学びの宝庫であり、素敵な感性を育てる魅力の地です。積極的に学習の場に生かすべきでしょう。

小・中学校の各校長会長から1年の振り返りと次年度の抱負・取組等について伺いました。

布田小学校 校長 横山 公一



子どもたちの命と笑顔のために～チーム調布として～

『生徒の数は命の数』を念頭に、中学校長会長として8校すべての子どもたちの笑顔、夢や希望の実現のため、校長8人でスクラムを組んで、日々の教育活動の充実や教育課題の解決に取り組んでまいりました。今後も調布市教育プランに基づき、教育環境を取り巻く喫緊の課題解決のため、様々な取組を全校で推進し教育委員会とともに力を合わせて、チーム調布として子どもたちのために尽力してまいります。引き続き、市内8校へのご支援とご協力をお願いいたします。

調布中学校 校長 梶山 剛史



問合せ/教育総務課 ☎481-7465

学校の周年記念式典を実施しました

緑ヶ丘小学校 60周年記念
開校60周年
キャラクター
「ミドシ」

10月17日の開校60周年記念式典には5・6年生が出席し、合唱を披露するとともに、6年生の代表児童が60年という歴史への思いや新たな決意を話しました。記念集会では、緑ヶ丘小の歴史クイズなどを楽しみ、6年生の見事な呼びかけにより、未来への希望をもとに全児童の心が一つになりました。



第四中学校 作成した校章の
開校60周年 モニュメント

第四中学校は、昭和40年4月に開校し、緑豊かな環境と温かな地域に支えられ歩みを重ねてきました。10月22日には、開校60周年記念式典を挙行了しました。節目の年となった本年、施設の建替え工事が始まりました。伐採された校庭の木々を使い校章のモニュメントを作成し、歴史ある四中の証を次代へと引き継ぎました。



飛田給小学校 記念品
開校50周年 トートバッグ
のデザイン

開校50周年を迎えた飛田給小学校では、10月24日に記念式典を行いました。参列した5・6年生は、在校生代表としての思いを、呼びかけと歌で伝えました。お越しいただいた多くのご来賓の皆様とともに開校を祝う、心温まる時間となりました。これからも、校風「ゆずりの心」を全校児童でしっかりと受け継いでいきます。



第二小学校 80周年記念
開校80周年 キャラクター
「二小忍者」

二小では開校80周年を迎え、航空写真撮影や多くの記念行事の取組を行ってきました。11月7日の記念式典には、在校生を代表して5・6年生が参列し、記念発表と「ふるさと」の合唱を披露しました。式では、第2回卒業生の方から開校当時の話をお聞きしました。多くのご来賓の方とともに、二小の歴史と伝統を知り、未来への一歩を刻む心に残る時間となりました。



問合せ/教育総務課 ☎481-7465

中央図書館 からのお知らせ 予約本受取コーナーの使い方

ICタグシステム導入とあわせて、令和7年2月から、文化会館たづくり1階に「予約本受取コーナー」を設置しました。予約本の受取は1階予約照会機でご確認ください。

- 1 コーナー入口の予約照会機で利用カード(FeliCa)を読み取りレシートを出力**
- 2 コーナーへ入室し、レシートの番号を参照して予約本を取り出す**
- 3 コーナー内のセルフ貸出機で貸出**

※本が探せない、機械の使い方が分からないなどご不明な点は、備え付けの図書館直通電話でお尋ねください。 問合せ/調布市立図書館 ☎441-6181

令和7年度東京都教育委員会表彰(健康づくり功労)

調布市の学校保健に長年ご尽力をいただいた右の先生方が、表彰を受けられました。これまでのご活躍とご功績に敬意を表します。

- 個人・団体の部【学校保健・学校安全分野】**(敬称略)
- 緑ヶ丘小学校 学校医(内科医) **井上 明彦** (いのうえ なるひこ)
 - 染地小学校 学校医(内科医) **貫井 清孝** (ぬきい きよたか)
 - 第二小学校・第八中学校 学校薬剤師 **谷津 祐子** (やつ ゆうこ)

問合せ/学務課 ☎481-7475

令和8年度 ジュニアリーダー・シニアリーダー講習会メンバー募集!



令和7年度講習会(レクの集い)の様子

ジュニアリーダー(中学生対象)・シニアリーダー(高校生学齢対象)講習会は、市内の中学生・高校生が集まり、ゲームや野外活動などの遊びや体験をとおり、学校・学年を超えた仲間たちと一緒にリーダーシップを身につけていく楽しい講習会です。

活動は毎月1回です。全ての講習会に参加できない方も、ぜひご応募ください。 ※詳細は、市報及び市ホームページ等をご覧ください。

問合せ/社会教育課 ☎481-7488

東部公民館との地域連携活動で「桐朋女子中・高等学校」が令和7年度調布市青少年表彰を受賞しました!

調布市では、毎年地域社会に好影響を与え、社会の模範となる青少年及び青少年団体を表彰しています。地域連携のきっかけは、桐朋女子中・高等学校の生徒4人が、令和3年3月に自主学习で東部公民館を取材したことでした。その後、桐朋女子中・高等学校の先生や生徒が講師となって地域の方々と学習を行ったり、展示や活動協力など、多い年で12件程の連携を毎年続けています。地域と学校と公民館が、今後も良好で強固な関係を保つとともに、社会環境に役立つ取組を継続していきます。(授賞式は令和8年3月)



「お助け!桐朋女子高校生と一緒に宿題しよう」様子

問合せ/東部公民館 ☎03-3309-4505

東部公民館開館50周年記念誌ができました!

開館50周年を迎えた東部公民館が、このたび記念誌を発行しました。名前は「とぶと〜ぶ」。50年の歴史をしっかりと受けとめ、振り返るだけでなく、次へ進むための1冊としてまとめました。東部公民館がしてきたこと、東部公民館でしてきたこと、いろいろな世代が利用している公民館との接点について、様々な切り口からその声を紹介しています。全編120ページには写真を多く使い、雑誌のように読みたくなる編集を心掛けました。

市内の3公民館や図書館などで閲覧することができます。ぜひ、ご覧ください。



問合せ/東部公民館 ☎03-3309-4505

出張パネル「クイズを解いて 目指せ!実篤博士!」新しき村編

武者小路実篤記念館では、実篤の人柄や活動、作品について分かりやすくまとめたポスターサイズのパネルを作成し、貸し出しています。読書週間にあわせて学校図書館に掲示したり、授業での利用、廊下や教室での掲示など、市内小・中学校で多く活用されています。

今回、実篤について楽しく学べる「クイズを解いて 目指せ!実篤博士!」シリーズとして「新しき村編」を作成しました。大正時代に実篤が創設した新しき村は、個性を大切にしながら自分らしく生きることを目指しました。子どもたちにも理解できるよう要点を選択式のクイズで紹介しています。

施設へのパネル貸出のほか、どなたでもホームページから閲覧・印刷することができます(右のQRコードからアクセス可)。ぜひ学習にお役立てください。

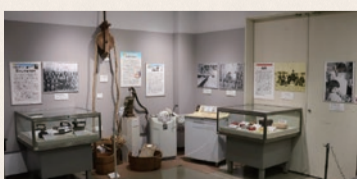


問合せ/実篤記念館 ☎03-3326-0648

郷土学習展 「ちょっと昔の暮らし」

郷土博物館では、所蔵する昔の生活用具をとおり、暮らしの移り変わりについて学ぶ郷土学習展を開催します。小学3年生の昔の道具や暮らしについての調べ学習に対応しています。

- 期間** 令和8年1月6日(火)~4月5日(日)
- 会場** 調布市郷土博物館 1階展示室 ※入場無料
- 開館時間** 午前9時~午後4時
- 休館日** 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- 所在地** 調布市小島町3-26-2
- アクセス** 京王相模原線京王多摩川駅 下車徒歩4分



問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

国史跡下布田遺跡のガイダンス施設の建設が始まりました!

令和6年度から国史跡下布田遺跡の整備工事を開始しています。令和7年度からは展示、普及啓発、体験活動等を行うガイダンス施設の建設が始まりました。

ガイダンス施設(右図参照)は2階建てとなり、1階は展示室、2階は体験学習室・ライブラリーコーナー・外部デッキ等の設置を予定しています。下布田遺跡に来場する方々や地域の皆様に親しまれる施設運営を目指していきます。



問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
「FeliCa」はソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

令和8年度就学援助申請受付 4月からスタート! ~希望される方はお忘れなく!~

児童生徒が学校で等しく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、学用品費や通学用品費などの学校で必要とする費用の一部を援助しています。希望される方は、申請の手続きをお願いします。詳細は、市ホームページ(右記のQRコードからアクセス可)にも記載しています。<トップページ→子育て・教育→学校・就学→就学援助・奨学金>からもご覧いただけます。



●対象者

調布市に居住し、公立小・中学校に在籍する児童生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して決定します。

主な認定要件

- 次のいずれか1つに該当する方が対象です。
- ・世帯全員の市民税が非課税である。
- ・児童扶養手当を受給している。
- ・世帯の所得の合計が基準額未満である。

収入・所得額の目安 給与所得・賃貸住宅の場合

世帯人数	2人	3人	4人	5人
収入例	約275万円	約376万円	約425万円	約535万円
所得例	約184万円	約256万円	約296万円	約383万円

※世帯構成・年齢・家賃月額などにより異なります。

他の要件もありますので、市ホームページをご確認いただくか、学務課にお問い合わせください。

●申請の手続き

①「お知らせ」の配付

毎年4月上旬に、各学校から児童生徒全員に配付します。その他、学務課で受け取るか、市ホームページからダウンロードすることも可能です。

②必要書類

申請書(申請書による申請の場合のみ)
必要な証明書等の写し(必要な方のみ。詳しくは「お知らせ」をご確認ください。)

③提出方法

電子申請の場合:指定の電子申請フォームから申請
申請書による申請の場合:学務課に持参又は郵送

④受付期間

4月分から支給を受けたい場合は、令和8年4月30日(木)までに申請してください。
5月1日(金)以降に申請し、認定となった場合は、申請を受け付けた月の翌月分から支給の対象となりますので、お早めにご提出ください。

●援助の内容

学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・新入学準備金・移動教室費・修学旅行費・卒業記念品費・体育実技用具費・通学費・医療費・給食費
※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。詳細は、4月に配付する「お知らせ」をご確認ください。



問合せ/学務課 ☎481-7473

教育相談のご案内

お子さんの養育や教育について、誰に相談すればよいかとひとりで悩んでいらっしゃいませんか。お気軽にご相談ください。

詳細はこちら▶



●来所相談

3歳から18歳くらいまでのお子さんについての相談をお受けしています。お子さんと保護者に来所していただき、心理相談員による継続的な相談やプレイセラピーを行います。

問合せ/指導室 ☎481-7633

●就学相談

通常の学級における指導では、その能力を十分に伸ばすことが困難で、特別な支援が必要なお子さんに、適切な教育の場を提供するための相談を行っています。

【就学相談(令和9年度入学)のご案内】
令和9年4月入学予定のお子さんの就学相談のお申込みを受け付け中です。

申込フォーム▶
問合せ/指導室 ☎481-7634



●電話相談

専門の相談員が、学校生活や子育てに関する相談を匿名でお受けしています。

【受付時間】
月～金曜日 午前9時～午後5時
(祝日を除く)

問合せ/指導室 ☎481-7777

●教育支援コーディネーターへの相談

小学校1年生から中学校3年生までのお子さんに関する学校・家庭での困りごとや気になることについての相談をお受けしています。

問合せ/指導室 ☎481-7718-7719

調布市型子どもの体力向上の取組



近年の気候変動により、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、特に夏の暑さによる遊ぶ場所や運動する時間の減少など、体を動かす機会が減少しています。そこで市教育委員会は、機会を提供するために令和8年度から市立小・中学校でダブルダッチに取組むこととしています。

- ・市立小・中学校の体育館を実施場所として想定(休み時間等)
- ・期間中(6・7・9・10月)、年齢を問わず、誰とでも一緒に取り組むことで、「つながり」を育む。
- ・「暑さに負けずに運動しよう」月間(仮称)の新設(7月)
- ・小中交流会の実施(10月の小中連携教育の日)に併せた実施を検討)

※ダブルダッチとは?

2本のロープを使い、向かい合った2人のターナー(回し手)が、右手のロープと左手のロープを半周ずつ内側に回す中を、1人または複数のジャンパー(跳び手)が色々な技を交えて跳ぶ競技です。

気軽に始めることができ、集中力、リズム感、俊敏性、創造性、表現力、そしてチームワークが身につく楽しいスポーツです。



調布市立学校における体力向上の取組として、令和7年度から「ちょこプラ1(ワン)調布」と題した取組を全校で実施しています。「ちょこプラ1調布」では、1日1分ちょこっと体を動かす取組を実施し、結果として、1日平均60分以上身体活動を行う子どもを増やし、体力向上につなげていきます。

【実践例】

- ・机を引きずらずに持ち上げて運ぶ
- ・雑巾を全力で絞る
- ・朝学活や授業開始前でのストレッチ
- ・正しい姿勢での読書



問合せ/指導室 ☎481-7480

児童生徒用 学習端末の更新

令和2年度に市立小・中学校の児童生徒に1人1台の学習端末を整備してから約5年が経ちました。この間、新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休校の際には、学習端末を活用したオンラインによる授業配信を行うことで学習の機会の保障を図り、また、日頃の授業や家庭での学習において、活用の機会を広げてきました。

このような中、学習端末の更新時期を迎え、令和8年度から新端末を使用できるように学校を通じて配付(貸与)します。更新の主なポイントは次のとおりです。



①小・中学校で同一の端末(iPad)を採用

→小学校から中学校へのより円滑な接続を見据えた学びの保障・充実
※現行 小学校:iPad
中学校:Chromebook
更新後 小・中学校ともにiPadへ

②LTEモデルの採用

→通信環境に左右されない学びの保障
※現行の端末もLTEモデルを採用
※LTEモデルは、Wi-Fi環境がない場所でもインターネットに接続できます。

③キーボード一体型ケース、スタイラスペン(タッチペン)の整備

→各教科の特性に応じた授業支援

市教育委員会は、引き続き、学校の教育活動における学習端末を活用した児童生徒の学びの保障・充実を支援していきます。

問合せ/指導室 ☎481-7480

市立中学校部活動地域連携・地域展開に向けて

地域連携・地域展開の目的

中学校の部活動は、全国的に少子化が進展し、チームを編成することができない活動があるなど、これまでと同様の体制で活動を継続することが困難な状況にあります。また、部活動へ参加する生徒のニーズが、「競技力向上」から「適度に運動に親しみたい」に変化しているため、多様な機会を検討していく必要があります。

このような状況を踏まえて、市と市教育委員会では、生徒たちが生涯にわたってスポーツ・文化芸術を楽しむことができるよう、部活動の地域連携・地域展開に向けた取組を進めています。

●地域連携とは… 学校部活動において部活動指導員等の配置や合同部活動等を実施すること

●地域展開とは… 生徒のスポーツ・文化芸術活動を学校部活動から地域クラブ活動に展開し、地域全体で支えていくこと

部活動ポータルサイト

「調布市立中学校部活動 地域連携・地域展開ナビ」

「国が示す部活動の地域連携・地域展開の概要」や「調布市の推進計画・取組事業」を掲載しています。また、本サイトでは、今後の調布市における中学校部活動の地域連携・地域展開に関するQ&Aも掲載しています。

ポータルサイトリンク▶



令和7年度トライアル事業を実施

部活動の地域連携・地域展開に向けた取組として、令和7年12月～令和8年3月にかけて、調布市ゆかりのトップチームとの連携や地域クラブ活動のトライアル事業を実施しました。このトライアル事業での成果や課題を検証し、調布の地域資源を活用した「調布モデル」の構築を検討していきます。

【活動の様子】



問合せ/指導室 ☎481-7480